



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月3日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6794 URL <http://www.foster.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉澤 博三
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	36,512	△3.4	947	△35.5	1,101	△33.5	△2,464	—
2018年3月期第1四半期	37,800	9.4	1,468	65.8	1,656	58.0	770	△22.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △2,349百万円 (-%) 2018年3月期第1四半期 813百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△95.78	—
2018年3月期第1四半期	29.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	97,593	63,289	60.3	2,289.11
2018年3月期	100,870	66,792	61.5	2,412.06

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 58,897百万円 2018年3月期 62,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	20.00	—	35.00	55.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	—	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	△24.2	3,000	△67.8	2,500	△72.4	△2,500	—	△97.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	26,931,051株	2018年3月期	26,931,051株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,201,489株	2018年3月期	1,201,449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	25,729,597株	2018年3月期1Q	25,729,773株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年6月30日)における世界経済は、総じて好調に推移しました。当社グループが属する電子部品業界においては、車載向け部品の需要が引き続き好調に推移し、IoTやAI等への取り組みも拡がりました。一方、スマートフォン市場では、高機能化により一台当たりの部品搭載数は増加していますが、端末販売自体は成長が鈍化してきました。

当社グループにおいては、主要顧客向けヘッドセットの販売数量及び価格が低下し、非常に厳しい事業環境となってきました。これに対して、当社グループは、ベトナム地域で早期退職者を募集し、また回収の見込めない固定資産を減損する等、最適な生産体制の再構築に取り組みました。また、車載向け製品事業を今後の事業の主軸とすべく組織体制を強化しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、36,512百万円(前年同期比3.4%減)となりました。利益は、営業利益が947百万円(前年同期比35.5%減)、経常利益が1,101百万円(前年同期比33.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失が2,464百万円(前年同期は四半期純利益770百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[スピーカ事業]

車載用スピーカ・スピーカシステムは、一部顧客のプレミアムブランド向け製品の販売数量が減少した結果、売上高が17,462百万円(前年同期比6.4%減)となりました。営業利益は、資材価格の上昇もあり1,077百万円(前年同期比20.7%減)となりました。

[モバイルオーディオ事業]

主力顧客向けヘッドセットは、旧モデルから新モデルへの移行が進みましたが、売上高は17,693百万円(前年同期比0.1%減)となりました。一方、営業損益は、新モデルの価格低下の影響により203百万円の損失(前年同期は営業利益16百万円)となりました。

[その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他の売上高は、1,399百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は76百万円(前年同期比17.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に有形固定資産の減少により前連結会計年度末に比べ3,277百万円減少して97,593百万円となりました。負債は、主に短期借入金の増加により前連結会計年度末に比べ227百万円増加して34,304百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ3,503百万円減少して63,289百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比1.2ポイント減の60.3%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより11,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,840百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、売上債権の減少等により675百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により556百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、借入金の増加等により2,043百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2018年4月27日公表の通期業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,704	11,003
受取手形及び売掛金	21,744	19,620
電子記録債権	499	319
有価証券	2,310	2,295
製品	26,582	30,053
原材料	7,972	6,108
仕掛品	2,075	1,429
貯蔵品	425	440
短期貸付金	0	0
未収入金	841	504
その他	1,473	1,602
貸倒引当金	△15	△18
流動資産合計	73,614	73,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,717	9,428
機械装置及び運搬具(純額)	6,515	5,496
工具、器具及び備品(純額)	3,056	1,937
土地	1,151	1,138
建設仮勘定	679	767
有形固定資産合計	21,120	18,768
無形固定資産		
ソフトウェア	307	263
借地権	816	832
その他	176	163
無形固定資産合計	1,300	1,259
投資その他の資産		
投資有価証券	2,743	2,639
長期貸付金	30	30
長期前払費用	543	162
退職給付に係る資産	778	757
繰延税金資産	439	315
その他	309	307
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,835	4,203
固定資産合計	27,255	24,231
資産合計	100,870	97,593

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,053	11,295
電子記録債務	60	—
短期借入金	3,353	6,280
1年内返済予定の長期借入金	1,250	1,042
未払金	4,316	3,854
未払法人税等	627	520
未払費用	1,946	1,683
賞与引当金	693	581
その他	651	490
流動負債合計	25,953	25,748
固定負債		
長期借入金	7,098	7,529
繰延税金負債	422	393
退職給付に係る負債	140	159
役員退職慰労引当金	8	9
株式給付引当金	46	57
資産除去債務	240	241
その他	169	164
固定負債合計	8,124	8,555
負債合計	34,077	34,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	9,394	9,394
利益剰余金	48,068	44,625
自己株式	△2,156	△2,156
株主資本合計	62,077	58,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	776	725
為替換算調整勘定	△410	△92
退職給付に係る調整累計額	△382	△370
その他の包括利益累計額合計	△15	263
非支配株主持分	4,731	4,391
純資産合計	66,792	63,289
負債純資産合計	100,870	97,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	37,800	36,512
売上原価	32,776	32,093
売上総利益	5,024	4,419
販売費及び一般管理費	3,556	3,472
営業利益	1,468	947
営業外収益		
受取利息	26	27
受取配当金	14	12
為替差益	117	116
雑収入	118	91
営業外収益合計	276	248
営業外費用		
支払利息	35	50
雑損失	53	43
営業外費用合計	88	93
経常利益	1,656	1,101
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
減損損失	165	2,087
特別退職金	—	948
特別損失合計	165	3,035
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,490	△1,934
法人税、住民税及び事業税	468	330
法人税等調整額	193	123
法人税等合計	662	454
四半期純利益又は四半期純損失(△)	828	△2,388
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	75
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	770	△2,464

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	828	△2,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△51
為替換算調整勘定	23	75
退職給付に係る調整額	△1	15
その他の包括利益合計	△14	39
四半期包括利益	813	△2,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	784	△2,185
非支配株主に係る四半期包括利益	29	△163

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,490	△1,934
減価償却費	2,103	1,680
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△12	19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46	15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△44	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17	△117
減損損失	165	2,087
特別退職金	-	948
受取利息及び受取配当金	△40	△40
支払利息	35	50
為替差損益(△は益)	16	12
売上債権の増減額(△は増加)	975	2,091
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,909	△743
仕入債務の増減額(△は減少)	△986	△1,985
未収入金の増減額(△は増加)	217	307
未払金の増減額(△は減少)	△359	△512
その他	△45	19
小計	△1,370	1,898
利息及び配当金の受取額	40	40
利息の支払額	△35	△50
特別退職金の支払額	-	△737
法人税等の支払額	△877	△492
法人税等の還付額	-	16
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,243	675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△298
有価証券の償還による収入	-	807
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,625	△974
無形固定資産の取得による支出	△62	△62
短期貸付金の増減額(△は増加)	1	0
長期貸付けによる支出	△1	-
長期貸付金の回収による収入	3	1
長期前払費用の取得による支出	△50	△2
その他	△2	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,738	△556
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,604	2,926
長期借入れによる収入	367	606
長期借入金の返済による支出	△318	△436
配当金の支払額	△643	△904
非支配株主への配当金の支払額	△150	△149
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	859	2,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	△420	△320
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,541	1,840
現金及び現金同等物の期首残高	12,037	10,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,495	11,991

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	18,647	17,719	1,434	37,800	—	37,800
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	18,647	17,719	1,434	37,800	—	37,800
セグメント利益	1,359	16	92	1,468	—	1,468

(注) 1 セグメントの調整額はありません。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、遊休資産に係る固定資産の減損損失を165百万円計上していま
す。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,462	17,693	1,356	36,512	—	36,512
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	42	42	△42	—
計	17,462	17,693	1,399	36,554	△42	36,512
セグメント利益	1,077	△203	76	950	△3	947

(注) 1 セグメントの調整額△3百万円は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を2,087百万円計上して
います。